
平成21年3月期 決算説明会

平成21年5月21日



極東貿易株式会社

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN



目次

□平成21年3月期決算の概要

□今後の見通し

✓ 事業の動向

✓ 新規事業戦略

✓ 平成22年3月期および今後の事業動向

□総括



航空機関連事業における状況

航空機関連事業

防衛省向け輸入品価格に係わる過大請求問題

- H21/4/24 違約金請求、第三者委員会調査報告について発表
- H21/5/11 決算発表
違約損失引当繰入額 12億56百万円追加
- 現在において調査未完了

近日中に新中期経営計画を発表予定

平成21年3月期 決算概要



平成21年3月期 決算概要

(単位:百万円)

連結P/L

	H20.3月期 4Q累計	H21.3月期 計画値	H21.3月期 4Q累計	前年同月 増減額	対計画 増減額
売上高	77,691	70,300	71,137	-6,554	837
売上総利益	7,461	6,600	6,474	-987	-126
販管費	6,318	6,200	6,205	-113	5
営業利益	1,143	400	269	-874	-131
経常利益	1,450	650	629	-821	-21
当期純利益	339	340	-2,867	-3,206	-3,207

■ 売上高

...

航空機関連事業は全般的に低迷
コーティング材事業は3Q以降に落ち込み

■ 売上利益

■ 販管費

...

管理可能経費等の経費を削減

■ 経常利益

...

持分法による投資利益等が増加

■ 当期純利益

...

特別損失として
投資有価証券評価損、防衛省向け違約損失引当金などを計上



平成21年3月期 決算概要

(単位:百万円)

事業の種類別セグメント

連 結		H20.3月期 4Q累計	H21.3月期 4Q累計	増減金額
■ 電機・エネルギー関連	売上高	35,580	34,357	-1,222
	売上利益	2,126	1,877	-249
	営業利益	567	268	-299
■ 電子・航空関連	売上高	13,843	13,753	-90
	売上利益	2,322	1,801	-521
	営業利益	-118	-299	-181
■ 一般産業関連	売上高	28,267	23,026	-5,241
	売上利益	3,019	2,795	-224
	営業利益	700	285	-414
消去又は全社		-6	14	+21
全 社 合 計	売上高	77,691	71,137	-6,554
	売上利益	7,462	6,474	-994
	営業利益	1,143	269	-874



平成21年3月期 決算概要

(単位:百万円)

事業の種類別セグメント(詳細)

連 結	H20.3月期 4Q累計		H21.3月期 4Q累計		増減金額		増減率	
	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益
電機・エネルギー関連								
重電設備	21,293	884	21,130	862	-163	-21	-0.8%	-2.5%
火力発電所向け 制御装置	5,580	652	6,114	546	533	-105	9.6%	-16.2%
資源開発機器	8,705	590	7,112	468	-1,593	-121	-18.3%	-20.7%
計	35,580	2,126	34,357	1,877	-1,222	-249	-3.4%	-11.7%

- 重電設備 … 製鉄所向け、化学プラント業界の設備投資→年後半はやや低迷
- 火力発電所向け
制御装置 … 若干の落ち込み → 定期点検、LNG基地向け制御装置が健闘
- 資源開発機器 … 国内での石油掘削、海洋探査関連事業に一服感



平成21年3月期 決算概要

(単位:百万円)

事業の種類別セグメント(詳細)

連 結	H20.3月期 4Q累計		H21.3月期 4Q累計		増減金額		増減率		
	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益	
電子・航空関連									
電子機器	4,012	751	2,781	498	-1,231	-253	-30.7%	-33.7%	
航空機関連機器	9,830	1,570	10,971	1,302	1,140	-267	11.6%	-17.1%	
計	13,843	2,322	13,753	1,801	-90	-521	-0.7%	-22.4%	

- 電子機器 … 市場の落ち込みが影響 → 全般的に低迷
- 航空機関連機器 … 官庁向け: 新規受注は停止措置中、受注残による売上あり
民間向け: 堅調に推移



平成21年3月期 決算概要

(単位:百万円)

事業の種類別セグメント(詳細)

連 結	H20.3月期 4Q累計		H21.3月期 4Q累計		増減金額		増減率	
	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益	売上高	売上利益
一般産業関連								
鉄鋼関連	3,805	320	4,705	368	900	47	23.7%	15.0%
プラスチック関連	14,040	1,680	11,872	1,523	-2,167	-157	-15.4%	-9.4%
複合材料関連	5,220	593	3,048	383	-2,172	-209	-41.6%	-35.3%
食品機械・副資材	2,053	281	1,663	303	-389	21	-19.0%	7.7%
公共・建材・その他	3,146	143	1,735	218	-1,411	75	-44.9%	52.4%
計	28,267	3,019	23,026	2,795	-5,241	-223	-18.5%	-7.4%

- 鉄鋼関連 … 鋼材溶削装置が、国内、および海外の製鉄所向けに【堅調】に推移
- プラスチック関連 … 世界的景況悪化による在庫調整の動き
→中国向けコーティング材の事業、北米向け樹脂事業が【減速】
- 複合材料関連 … 販売価格下落等による設備投資抑制の影響 →【低迷】
- 食品機械・副資材 … 業界全体低迷したものの、コスト削減努力を推進 →【堅調】に推移

平成22年3月期および今後の事業動向



事業の動向(1) 航空機関連

航空機関連事業

現在の状況

- 新規契約が出来ない状況が継続中

- 防衛省向け輸入品は契約～納期まで約1年長

【H21.3月期】 既契約分の納入有り(納期までリードタイムが長いため)

【H22.3月期以降】受注残はあるものの、厳しい状況 ⇒コア事業としての位置づけを一旦取りやめ

今後の事業方針 ⇒コア事業への復活を目指す

- 官庁向けビジネス

・関連新規事業、新規契約を開拓する少数精鋭のプロジェクトチーム的組織を構築予定

- 民間向けビジネス

・H21.4月 新規事業開拓に向けた組織に変更

航空機関連 業績推移		H21.3	H22.3	
		実績	上期計画	通期計画
(百万円)	売上高	10,971	1,514	3,468
	売上利益	1,302	256	572



事業の動向(2)コア事業;自動車関連

自動車産業向け事業

H21.3期

世界同時不況による影響のなか、積極的経営資源の投入により健闘

- ✓ 中国における日系自動車メーカー向けコーティング材事業
 - ✓ 北米自動車産業向け樹脂
 - ✓ 高級鋼板用鋼材溶削装置 ⇒成長
- } 後半伸び悩み

H22.3期以降

- ✓ 中国向けコーティング材事業:自動車産業の停滞の影響+競合メーカーの台頭
…厳しい事業運営が予想される ⇒家電市場向けに市場拡大
- ✓ 高級鋼板用鋼材溶削装置 ⇒順調な伸びを期待

自動車関連 業績推移		H21.3	H22.3		H23.3	H24.3
		実績	上期計画	通期計画	目標	目標
(百万円)	売上高	13,970	4,667	9,443	11,062	13,989
	売上利益	1,659	562	1,261	1,298	1,328



注力事業の紹介①

鉄鋼関連事業

① 高級鋼板用溶削装置(スカーフィングマシン)

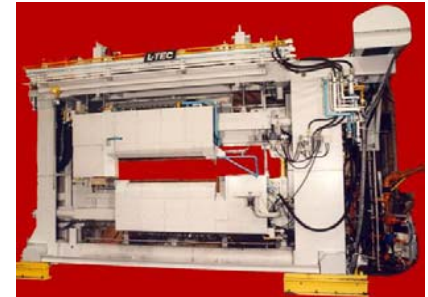
鋼板の圧延プロセスにおける疵の除去装置

高級鋼板の製造過程に必要な装置

自動車用鋼板、特殊鋼の需要は世界的に停滞感

⇒スカーフィングマシンを利用する高付加価値・高品質製品の需要は底堅い

- ・BRICs諸国からの引き合い活況
- ・インド現法:動きが本格化
- ・ブラジル現法設立準備室立ち上げ(H21.4月)



② 圧延機関連、潤滑装置、計測装置、ベアリングなど

国内外鉄鋼メーカーの老朽設備の更新に対応 ⇒ 拡販を図る

鉄鋼関連 業績推移		H21.3	H22.3		H23.3	H24.3
		実績	上期計画	通期計画	目標	目標
(百万円)	売上高	4,705	2,245	3,850	3,939	4,891
	売上利益	368	218	373	391	425



注力事業の紹介②

自動車産業向け事業

大手メーカーとのコラボレーションによる積極的な新規事業開拓を推進

- ・業界全体のエコ対策と省エネ対策への取り組み
⇒両対策に寄与するような素材・サービス提供を模索中
- ・国内大手化学メーカーと協力
⇒韓国自動車メーカーとの取引を模索中





新たなコア事業育成について

- ・ **自動車関連事業** ⇒ 中心事業をさらに力強く成長 + 裾野の拡大
= 高級鋼板用鋼材溶削装置事業の育成に続く事業育成
- ・ **収益性の高い新規事業の開拓**
 - ☞ 長年に亘る取引先との信頼関係
 - ☞ 顧客ニーズに応え、長く使用できる商品
 - ☞ 優れた技術力とサービス力を持つ営業マンのサポート

KBKグループのコア・コンピタンス



新規事業
投融資関連事業



新規・投融資事業戦略の進捗状況

ベンチャー企業との協業

優れた新技術を持つベンチャー企業へ…積極的投資、商流構築支援、調達業務の協力

⇒競争力のある商品による市場開拓

- ✓ レーザー技術を利用した三次元測定器
- ✓ 太陽電池関連商材
- ✓ 最先端光学技術を利用した計測機器

今後も継続注

新たなビジネス・モデルへの挑戦

☞ KBKスチールプロダクツ

- ・ H21.4月設立 …当グループの100%子会社のメーカー企業
- ・ ステンレス関連製品の大手国内メーカーからステンレスベルトの商流を事業譲渡
- ・ 優れた品質 + 販売力強化 = 収益性を向上
 - ・ 当グループの販売網、優れた技術を持つ営業マンを投入
 - ・ 新たな事業展開や同技術の他分野への転用

☞ 3Dデジタルデザイン・サービス提供会社を立ち上げ

- ・ 3Dデジタルデザイン・設計ソリューションサービスベンチャー企業との合併
- ・ 製品の試作工程 …3Dレーザースキャナー等を利用し、デザインを具現化
新製品立案段階での設計パラメータを決定
- ・ 当グループの得意先である一般的な産業界 + マスメディアやアミューズメント業界を視野

画期的・経済的な
手法



H22年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

連結P/L

連結	H21.3月期 通期実績	H22.3月期		増減高	増減率
		上期計画	通期計画		
売上高	71,137	24,000	52,000	-19,137	-27%
売上総利益	6,474	2,250	5,100	-1,374	-21%
販管費	6,205	2,650	5,350	-855	-14%
営業利益	269	-400	-250	-519	-193%
経常利益	629	-300	-100	-729	-116%
当期純利益	-2,867	-800	-600	2,267	-79%

- 売上高 ... 航空機関連機器:防衛関連問題の影響で落込み
- 営業利益 ... 中国向けコーティング材事業、北米向け樹脂事業も厳しい事業環境
- 経常利益 ... 経済不況の影響により
受取配当金、持分法投資利益などの低迷が予想される
- 当期純利益 ... 不採算事業の整理、コスト構造改革による特別損失5億円を想定

↑ 経営改革推進会議を発足;組織の戦略的再編、営業基盤の強化を目指す



平成22年3月期以降の主要事業の動向

セグメント別の動向

重電設備: 製鉄、化学プラント業界の設備投資抑制 →今年度も低迷継続

● 電機・
エネルギー関連

… 火力発電所向制御装置: 電力事業が計画通り推移 →ほぼ前年と同水準

資源開発機器事業: 大型案件の端境期。売上は大幅減少予想

電子機器事業: ほぼ前年並みの推移

● 電子・航空関連

…

航空機関連事業: 今期大幅減

鉄鋼関連事業: 高級鋼板用溶剤装置が、国内外製鉄メーカー向けからの引合い順調

● 一般産業関連

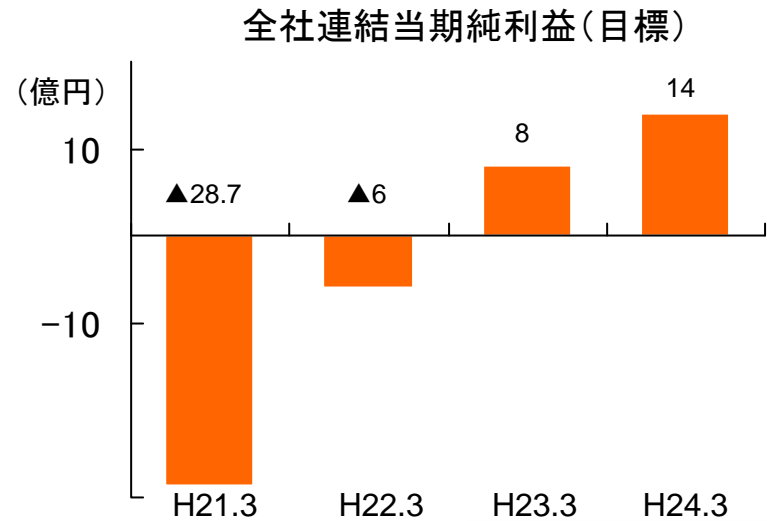
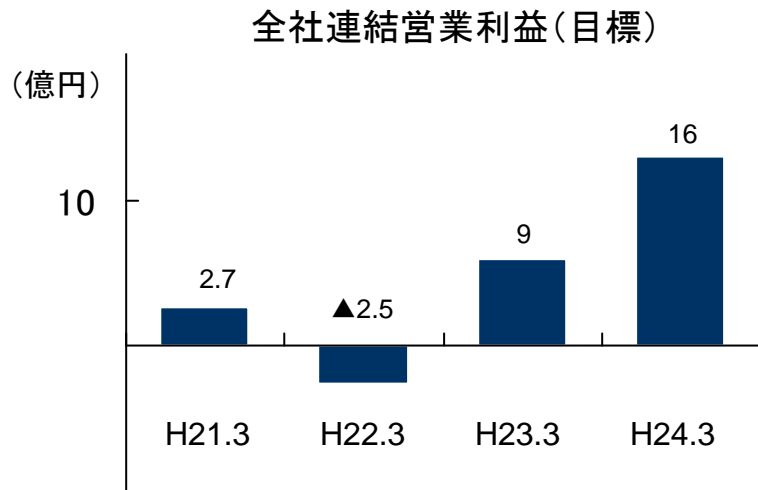
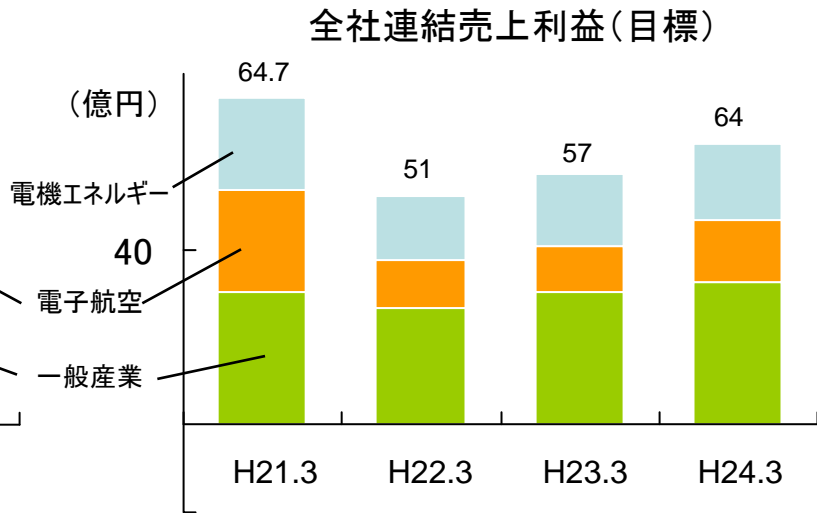
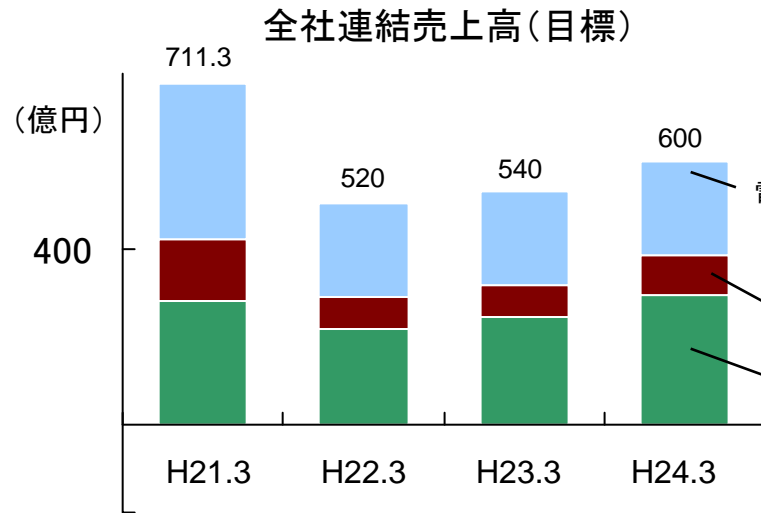
…

プラスチック関連事業: 北米自動車業界向け樹脂、中国における家電並びに自動車業界向けコーティング材事業が低迷

複合材料事業・食品関連事業: 前年度に比べてやや伸張

建設用資材関連: 公共関連投資が見込める

セグメント別3カ年数値については、中期経営計画の中で発





総括

世界経済不況＋航空機関連事業における商権の逸失

⇒ 事業構造の全面的な見直し

- ・ 商権育成のため温存してきた不採算事業の全面的見直し
- ・ 採算事業は更なる高収益性を目指し効率化
- ・ グループ全社を対象に、コスト構造の全面的な見直しを断行
- ☞ 各施策の実行は今期中 → 今期以降のグループ全体の削減効果目標額 約13億円
- ☞ 不採算事業撤退による余剰人員を、新規事業の開拓に投入
- ・ 既存事業の拡販等、景況の回復に備えて国内外の拠点戦略を整備
- ・ 当社ネットワークを有機的に結合し、各事業領域における基盤を整備
- ☞ 他社に先駆けて安定的な成長基盤への移行
- ☞ 次年度以降の磐石な経営基盤を構築

新中期経営計

KBK Approach to the Future

(数ヶ月以内に発表予定)

配当状況 21.3月期 (2Q) 3円75銭 (4Q) 3円75銭 (年間) 7円50銭

ご清聴ありがとうございました。



極東貿易株式会社

見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。